

鴻巣から ミラノ・コルティナへ

鴻巣市在住で車いすカーリング（ミックスダブルス）・小川亜希選手が、ミラノ・コルティナ 2026 パラリンピックへの出場を決め、日本代表選手団の旗手にも選出されました。車いすカーリングとの出会いや競技の魅力、パラリンピックへの抱負を紹介します。



バンクーバーから16年 再びパラリンピック出場決定！

小川 亜希（おがわ あき）選手

鴻巣市在住

2010 バンクーバー・パラ 10 位（4 人制）

2025 世界車いすミックスダブルス選手権優勝、ミラノ・コルティナ 2026 代表／日本代表選手団旗手



練習中の飯野コーチと小川選手

車いすカーリングの競技日程 **【日本時間】**
3月5日(木)～11日(水) ※予定

ミラノ・コルティナパラリンピックの車いすカーリング(ミックスダブルス)は、3月5日～11日まで開催されます。小川選手の2回目のパラリンピック出場をみんなで応援しましょう！



【誰もが同じリンクで楽しめるスポーツ】
カーリングの魅力は、年齢や障がいの有無にかかわらず同じリンクで一緒にプレーできること。「声をかけ合いながら一投を重ねるのが楽しい」と笑顔を見せ、競技人口が増えることに期待を寄せます。大会に向けては、「メダルを取ればもちろん嬉しいが、まずは良い試合をして笑顔で終われるよう頑張りたい」と語ります。

【きっかけは「車いすでもできる」の一言】
小川選手は、けがをする前から体験会などでカーリングにふれていました。スキーでけがをした直後の入院中に、職場の元同僚でもある飯野コーチから「カーリングは車いすでもできるからまた一緒に楽しもう」と声をかけられ、始めは友達と楽しみながら続けていました。やがて競技としても取り組むようになり、バンクーバー大会への出場を経験。「もう一度あの舞台に立ちたい」という思いを胸に競技を続け、ミラノ・コルティナパラリンピック出場と、日本代表選手団の旗手を務めることが決定しました。

車いすカーリングとは？

通常のカーリングと同じ会場で同じストーンを使用します。

基本的な作戦の考え方や競技のための用語も同じです。



【カーリングと車いすカーリングの主な違い】

- ・車いすに乗り静止した状態から、デリバリースティックを使いデリバリーする（ストーンを投げる）
- ・デリバリーをするときは、チームメイトが後ろから支える
- ・スウィーピング（氷をブラシでこすること）は禁止